

公共交通に親しむ日の結果について

岡崎城下家康公秋まつり

1 概要

(1) 趣旨

岡崎城下家康公秋まつりにブース出展することで、幅広い年代の方に公共交通に対して親しみを持ってもらい、公共交通の利用促進に繋げることを目指す。

(2) 実施日

1日目：令和7年11月1日（土）

10時～16時 晴

2日目：令和7年11月2日（日）

10時～15時 晴

(3) 場所

岡崎城公園 多目的広場

(4) 実施主体

岡崎市・岡崎市地域公共交通会議



2 実施内容

●バスの乗り方教室・運転手制服着用体験

名鉄バス㈱の協力により会場にバスを入れ、より多くの方にバスの乗り方を学んでもらうため乗り方教室を開催すると共にバス運転手の制服を着用する体験を開催。



●岡崎市地域公共交通計画の改定に向けた市民アンケートの実施

ブースに来場した方を対象に、紙で簡易アンケートを実施した。

【内容】

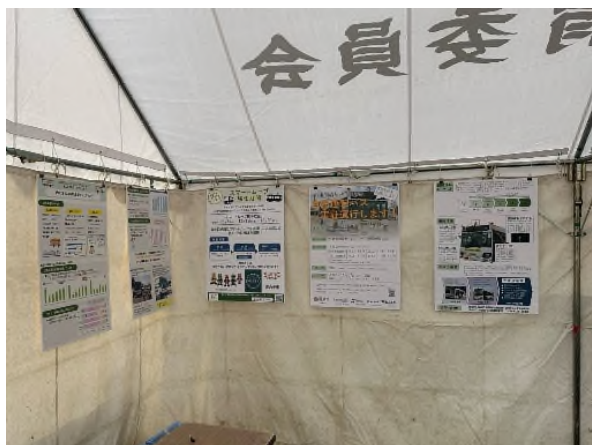
・居住地、年齢、性別、日常の利用状況、普段よく行く場所、送迎の有無や負担感 等

【回答者数】

	1日（土）	2日（日）	合計
回答者数	約270名	約400名	約670名

●パネル展示及び顔出しパネルの設置

ブース内にパネルを設置することで、公共交通について考えてもらうきっかけづくりを行った。また、整備中の東岡崎駅のイメージパスや自動運転バスの実証運行についてもPRをした。愛知環状鉄道(株)及び名鉄バス(株)の協力による顔出しパネルも設置し、多くの人に立ち寄ってもらうことができた。



3 評価

- 岡崎城下家康公秋まつりでの「公共交通に親しむ日」は昨年度から引き続きの実施だったこともあり、展示するパネルの流れやお客さんの動線など、去年の反省を活かしながら事業を実施することができた。
- 会場に入ってすぐに確認できる場所へのバスの設置や、テント外に設置した顔出しパネルなどが呼び水となり、公共交通に関心のない方もブース内に来場してもらうことができ、公共交通に関心を持ってもらうきっかけを提供することができた。
- 地域公共交通会議の委員の協力により、協賛品等の協力を得られてことにより、多くの市民に関心を持っていただき、アンケート収集やPRを実施することができた。
- 今後、実施の際にはより多くの市民に興味を持ってもらうことを目指し、今まで以上に、公共交通会議を通じてPR内容の調整や交通事業者の参画の呼びかけなどを行う必要がある。

公共交通に親しむ日 i n アピタ岡崎北

1 概要

(1) 趣旨

自動運転バスや公共交通に関するポスターの展示、公共交通機関での来訪を促すことで、施設駐車場の混雑緩和や周辺道路の渋滞緩和を目指す。

(2) 実施日

令和7年11月8日（土）10時～15時

(3) 場所

アピタ岡崎北店

(4) 実施主体

岡崎市・岡崎市地域公共交通会議



2 実施内容

●自動運転バスの展示及び制服着用体験会

名鉄バス(株)の協力により、令和7年11月30日から一般試乗が始まっている自動運転バスの車両を、1階フードコート前屋外スペースに展示し、自動運転に関するチラシを配布することで周知を図った。

また、子ども向けイベントとして、名鉄バスの運転手の制服を着用する体験を開催し、自動運転バスとの記念撮影を行った。



●「岡崎市公共交通ポスターコンクール」応募作品・入賞作品の展示

夏休み期間中に市内の小中学生に募集したポスターコンクールの応募作品・入賞作品を、2階セリア前に展示した。(展示作品数は71点)

また、入賞者への表彰式を開催し、応募した児童・生徒だけでなく、その家族にも立ち寄ってもらうことができた。



●オープンハウス

令和7年9月20、21日のイオンモールに引き続き、オープンハウスを実施した。

- A. 居住地別シールの貼付による意見収集（パネルアンケート）
以下の設問について、居住地別（8色）に色分けしたシールを貼り付けてもらう。
 - ①今日の交通手段
 - ②普段の交通手段
 - ③普段よく行く場所
 - ④交通手段がより充実していたら行きたい場所
 - ⑤岡崎市の今後の公共交通利用促進に向け期待する取組み
- B. 簡易アンケートの実施
少し時間をいただけた方には、調査票による意見収集を行った。

【アンケート回答者数】

パネルアンケート 回答者数	簡易アンケート 回答者数	合計
40名	60名	100名

3 評価

- アピタ岡崎北店での「公共交通に親しむ日」は今回初めての実施となったが、ポスター展示は買い物客が足を止めて写真を撮るなど、多くのかたに作品を見てもらうことができ、公共交通に関心を持ってもらうきっかけを提供することができた。
- 9月に実施した「公共交通に親しむ日 in イオンモール岡崎」とは異なるエリアで実施したことで、より多くの市民に来場いただくことができ、ポスター展示やアンケートが有意義なものとなった。
- 岡崎城下家康公秋まつりと同様に、地域公共交通会議の委員の協力による協賛品等を活用したことで、多くの市民に関心を持っていただき、アンケート収集やPRを実施することができた。